

スクリン・クロラ

The Screen Crawlers

その世界には
思春期の姿のまま
永遠に大人にならない《プログラマ》がいた。

その銃で私を撃って
さもないとこのバグ、永遠にこのままだよ

何度、バグと出会い
何度、バグと戦い
何度、バグを潰し切ったと勘違いしただろう

もう一度、動画で見たいと思う？

これまでの常識を根底から覆し損ねた Mac OS X Leopard専用動画キャプチャソフト スクリン・クロラ。

今作品の中心人物の一人、 世紀のアイコン作家Nobby氏に 特別インタビューを行う事ができました。

- 先生、まさかこの方向で来るとは予想していませんでした。
「デザイナーの仕事の8割は、人々の予想を裏切ることにある。
残り2割は、至ってシンプルな物事を大げさな表現に置き換えることだ」
- 本人を前に相づちを打つのがためらわれる、実に奥深い台詞ですね。
「君の謙虚さは湖面に浮かぶ秋月のようだ」
- さて、改めて今作品についてですが。
「何でも聞いてくれて構わない。英語かドイツ語でならば答えられると思う」
- ……怒られませんか？ これ。
「答えられない」
- パクリですよ。
「そうした疑問については、こう言い換える事が妥当だろう。……希望を失った
このような時代において、たまたま押井監督と私の世界観が漸近した。
あるいは押井監督が私に強くインスパイアを受けた、と」
- 向こうの方が先ですよ。時系列として。
「時間は夢を横切らない。夢も時間を値切ってはならない」
- 法廷闘争を避けようとするあまり、意味不明な台詞になっています。
「そうした争いの無益さこそ、スクリン・クロラの描きたかった部分なんだ」

— 今回、先生がキャッチコピーとして並べた台詞にも、実に印象的なものが多かったように思います。たとえば【その銃で私を撃って。さもないとこのバグ、永遠にこのままだよ】など……、強烈ですね。
「無能なデバガがヒステリを起こした場面をイメージして描いたのさ。」

— 思っていたより浅い世界観ですね。
「深度で計ろうとするから世界を捉えられない。必要なのはむしろ温度計だ」

“深度で計ろうとするから 世界を捉えられない。 必要なのはむしろ温度計だ”

— 説得力をねつ造するために、勝手に大文字を使わないで下さい。
「君の勘の鋭さは、トムソンガゼルに匹敵する」

— そういえばWebサイトに音楽も提供なさったそうですが。
「以前組んでいたバンドで、ギタリストが事故死して以来、私が音楽活動から遠ざかっていた事は君も知る所だと思う。あの雨の夜、ロックは死んだ。しかし昨晚のこと、夜明け前の静かな世界に、何か微かな希望の予兆のようなものを感じた私は自然と弦をつま弾いていた。約二十分で作ったよ」

— 驚きを禁じ得ないパクリ具合です。パクリ&チープです。
「では“微かな希望の予兆”を、“大幅なオリジナリティの消失”に言い改めよう」

— MacBook Proのキーボードで演奏した点だけは褒めてもいいです。
「やっつけ仕事に大切なのは、統一感とアルコールだ。そう、とびきりの」

— 先生の本質を突くダイレクトな言葉ですね。ちなみに、先生が一方向的に世界観を共有していると認識なさっている、押井監督の映画“スカイ・クロラ”は何回くらいご覧になったのでしょうか。
「まだ見てない」

— 本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

2009年3月22日 ルクセンブルクにて